

合併一年

元気な皆さんに 聞きました！



市民の皆さん、明けましておめでとうございます。今年のお正月は高島市にとって満1歳を迎える記念すべき新年となりました。

そこで、新年号の巻頭特集として、昨年、様々な場面で活躍された方や記念すべき年となった皆さんにインタビューをさせていただきました。

昨年はどんな年だったかを振り返ってもらい、新年の抱負と高島市に期待すること、高島の目指す「環の郷」についても聞きました。

質問

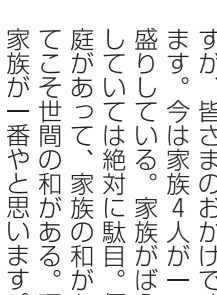
- 1 「合併して二年が経ちますが、昨年はどんな年でしたか？」
- 2 「新年の抱負を教えてください」
- 3 「高島市に期待することや夢を教えてください」
- 4 「あなたが思う「環の郷」は、どんなまちだと思いますか？」



「この小売業は80年から続いている...」

- 1 とにかくバタバタしました。春から社会人になって、それに加え高校から続けている演劇を頑張ってきた。特に演劇は、劇団として独り立ちした年だったので本当に大変で、色んな意味でスタートの年でした。(今回最優秀をもらった芝居は)一つの作品をこんなに長くやったのは初めてだったけど、確実に成長できたことを実感しています。あと、県の青年大会で優秀な成績を取った時、なんかすごく市になったことを実感しました。
- 2 劇団の中で、もっと自分の役割を自分で見つけたい。まだまだ代表に頼りすぎりなので、頑張ります。役者としてもまだまだ...でも、また全国大会に行きたい！
- 3 多くの人に自分たちのやっていることをもっと知って欲しいし、気軽に遊びに来て欲しい。どんな活動も自己満足では駄目だと思うので、みんなが気軽にワイワイ活動できるまちになって欲しいです。
- 4 言われて初めて気づく「そういえばこれもうやなあ」と思えることが出来るまち。

「この小売業は80年から続いている...」



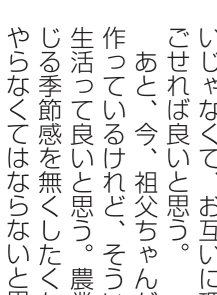
「この小売業は80年から続いている...」

- 1 滋賀県商工会女性部主張発表大会で最優秀賞受賞。近畿大会にも出場されたマキノ魚末商店の奥さん。
- 2 100の愚痴よりも10の提案、10の提案より100の実行をこれからも続けていきたい。さらさらと流れる川を一番きれいにしたいです。私は美しいマキノを残したいと心から常々思っています。
- 3 こどもが外でのびのび遊べるのが大事だと思うので、昔あった集会所の卓球台のように、年寄りも子供もまじってみんなが揃って遊べる場所が欲しい。
- 4 (この小売業は)80年から続いている...ですが、皆さまのおかげです。感謝しています。今は家族4人が一つになって切り盛りしている。家族がばらばらの生活をしていては絶対に駄目。何でも話せる家庭があって、家族の和がある。家族あってこそ世間の和がある。環の郷もつまり家族が一番やと思っています。



「この山の本には精力があったけど...」

- 1 80と27歳(107歳)になりました。今は仕事もしてないですし、足も痛いのでゆとりと過ごしています。昨年の想い出もいっても、親類と一緒に温泉に行ったことぐらいかな。昔のことは今でも良く覚えてます。戦争時分にトンネル(炭坑)の中で仕事したこと、松茸山のこと、大阪から飛行機に乗ったことなどよく覚えてます。
- 2 新しい年といっても、年にはかないません。地域の運動会なんかに行くと、連れが皆いんよになるのが寂しいですわ。(じゃあ、元気の秘訣は何ですかという問いに対して)特に何もありません。ただ好き嫌いはしませんし何でも食べます。
- 3 この辺りでも、昔100程あった家が60程に減りました。道は広くなったけど、家は減った。私らみたいなもんはもう良いけど、若い人に仕事があるようにしたって欲しい。難しい仕事でも力仕事でも何でも良いし、この辺で働けるようにしたって欲しいです。
- 4 昔の山の本には精力があったけど、今はない。松茸山を管理する時は、20年もの計画を立てて、いっぺんに採り過ぎんよつにします。人の勝手にやったら何にも上手いこといきません。そんなことやと思っています。



「昨年の春季近畿地区高校野球大会で準優勝...」

- 1 部員は約50人。大人数なので上手くまとまらない時もあって、しんどかった。でも、やる時はやる仲間だったので、勝っても負けてもその時の気持ちをチーム全員で共有できたので嬉しかった。昨年一番嬉しかったのは、ホンマの地元のものだけで結果を残せたこと、そしてみんなと一緒に最後まで頑張ったこと。
- 2 今年は高校も卒業して新たなスタートを切る年。自分の中で野球は高校生活の8割から9割を占めていたと思う。だからこそ、高校野球で培ったものをこれらの大学生活、社会生活に役立てていきたい。
- 3 社会人野球クラブが設立された話があるけど、素直に嬉しい。スポーツが盛んなまちになって欲しい。
- 4 幅広い年齢、お年寄りからこどもまでふれあえるまち。若者は年寄りのことが解らない、年寄りは若者のことが解らないじゃなくて、お互いに理解しあって過せば良いと思う。あと、今、祖父ちゃんが柿や農作物を作っているけれど、そういう都会にない生活って良いと思う。農業とかそこで感じる季節感を無くしたくないし、誰かがやらなくてはならないと思う。

昨秋10月、待望の学校給食が始まった

「朽木小学校」の保健委員6年生の皆さん

- 今北 哲平さん、梅本 瞭さん
- 羽瀨 良美さん、山浦 美紀さん
- (朽木・小学6年生)



1 村から市に変わったけど別に何にも変わらない。6年になって、低学年の子とかの前でちゃんとしゃべれるようになった。あと、スポ少の野球チーム「トトルズ」が初勝利をしたのが嬉しかった。昨秋から給食が始ま

環境こだわり農産物で、滋賀県優秀農家表彰、滋賀県知事賞を受賞。新しい夢アドベリーも育てておられます。

● 梅村 元成さん(安曇川町四津川:55歳)

- 1 こだわりの米作りが表彰されたり、若い子が手伝いに来てくれて一緒に仕事をしたり、とても充実した1年でした。米作りでは農薬を使わない栽培に手応えを感じた年でした。また、栽培者として当初から携わっているアドベリーの記念すべき初収穫の年でもありました。
- 2 アドベリーにはまだ誰もやっていないことをやっているという夢があります。また、その関係でお世話になっているニュージランド・ネルソンの人との信頼関係も出来ているので、個人的には英語をしゃべれるようになりたい。この年になってから英語の勉強をする気になったのもこのおかげです。有り難



「アドベリーは今は試験的栽培ですが...」

- 3 (アドベリーは)今は試験的栽培ですが、今後、市内全域に拡がって高島地域の特産品として育てて欲しいし、真剣に取り組んでいます。高島は高島の良さを生かして、街ではできない自然に順応した自然循環型農業を高島の農として立ち上げたら良いと思う。市になった今、全国に発信できる期待が持てるようになった。そんな風に進んで欲しいし、進まなあかんと思っています。
- 4 今どつしても人と人とのつながりが薄れがちだからこそ、大事にしたい。ネルソンでは、会う人が皆あいさつをしてくれて、もの凄く暖かくなって、当たり前前の「ハロー」がある事に感動しました。高島もそんな思いやりのあるまちになって欲しいと思います。